

(様式第6)

第 号
令和 年 月 日

文化庁長官 殿

補助事業者名
所 在 地
代 表 者 職 名
代 表 者 氏 名

令和3年度文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）実績報告書

令和3年 月 日付け3受文庁第 号により補助金の交付を受けた下記の事業の実績について、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第14条の規定により、下記のとおり報告します。

記

事業の名称	
補助事業の実施期間	令和 年 月 日着手 令和 年 月 日完了
補助金の交付決定額と その精算額	交付決定額 0 円 精 算 額 0 円 不 用 額 0 円

(記載上の注意)

別紙として、以下の書類を添付すること。

1. 補助事業経費収支精算書（交付申請書添付書類「補助事業に係る収支予算書」の様式に準じる）
2. 補助事業の実施内容
3. 補助事業の経過及び成果を証する書類並びに写真等の資料
4. その他

(注) 文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）交付要綱第9条に基づき、変更して交付決定があった場合には、変更後の額によること。

(注) 消費税法上の課税事業者である場合は、文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）交付要綱第10条第2項に基づき報告すること。

(注) 用紙は日本産業規格A4とする。

<事業報告書>

事業の名称	
事業に係る文化財 の名称	
事業の内容	
得られた効果	

<収支精算書>
収入の部

区分	交付決定時（円）	精算額（円）	備考
補助対象経費			
自己負担額			
都道府県補助額			
市町村補助額			
その他（自己収入等）			下欄参照
小計 （c（補助対象経費））	0	0	
国庫補助額 （b）			
補助対象外経費			
自己負担額等			
その他（自己収入等）			下欄参照
小計 （c（補助対象外経費））	0	0	
総事業費 合計 （a=b+c）	0	0	

その他（自己収入等）内訳

区分	交付決定時（円）	精算額（円）	
〇〇協賛金			
〇〇協賛金			
〇〇入場料収入			
小計	0	0	

支出の部

(単位：円)

区分		総事業費 a=b+c	補助対象経費		補助対象外経費
			b 補助額	c 自己負担額・自己収入額等	
	地域無形文化遺産継承基盤整備	0	0	0	0
	(項) 記録作成事業	0	0	0	0
	(目) 給与	0			
	共済費	0			
	報償費	0			
	旅費	0			
	使用料及び借料	0			
	役務費	0			
	委託費	0			
	請負費	0			
	原材料費	0			
	需用費	0			
	(項) 後継者養成事業	0	0	0	0
	(目) 給与	0			
	共済費	0			
	報償費	0			
	旅費	0			
	使用料及び借料	0			
	役務費	0			
	委託費	0			
	請負費	0			
	原材料費	0			
	需用費	0			
	(項) 用具等整備事業	0	0	0	0
	(目) 給与	0			
	共済費	0			
	報償費	0			
	旅費	0			
	使用料及び借料	0			
	役務費	0			
	委託費	0			
	請負費	0			
	原材料費	0			
	需用費	0			
その他経費（事務費）	事務経費	0	0	0	0
	(項) 事務費	0	0	0	0
	(目) 給与	0			
	旅費	0			
	役務費	0			
	委託費	0			
	需用費	0			
支出合計		0	0	0	0

(記載上の注意)
※事業実施上、計上していない費目の欄は削除してください。

▼（文化庁確認欄）以下は、自動計算のため、触らないでください。

地域無形文化遺産継承基盤整備	
【参考】国庫補助率	#DIV/0!

#DIV/0!

補助率（0～1） 補助額

0.85

0

<支出内訳明細書>

(給与・報償費用)

(項) _____
(目) _____

支払 年月日	目の細分	摘要 (受領者名等)	単価(円)	数量	単位	人数	金額	補助対象経費		対象外経費	領収書 番号
								補助額	自己負担額等		
							0				
							0				
							0				
							0				
合 計							0	0	0	0	

記載上の注意

目の細分欄は、補助要項の目の細分ごとに記載すること
記入欄が不足する場合は、適宜追加して作成すること
収支精算書の（項）及び（目）の順番どおりに作成してください。

<支出内訳明細書>

(項)

(目) 旅費

(旅費用)

支払 年月日	目の細分	摘要 (旅行者)	経路 (出発地-経由地-到着地)	単価 (片道)	数量	金額	補助対象経費		対象外経費	領収書 番号
							補助額	自己負担額等		
						0				
						0				
						0				
						0				
合 計						0	0	0	0	

記載上の注意

目の細分欄は、補助要項の目の細分ごとに記載すること

ガソリン代、日当は計上しないこと。計上する場合は自己負担額等とすること。

記入欄が不足する場合は、適宜追加して作成すること

収支精算書の（項）及び（目）の順番どおりに作成してください。

<支出内訳明細書>

(その他用)

(項) _____
(目) _____

支払 年月日	目の細分	摘要 (品名等)	数量	単位	単価(円)	金額	補助対象経費		対象外経費	領収書 番号
							補助額	自己負担額等		
						0				
						0				
						0				
						0				
合 計						0	0	0	0	

記載上の注意
目の細分欄は、補助要項の目の細分ごとに記載すること
記入欄が不足する場合は、適宜追加して作成すること
収支精算書の（項）及び（目）の順番どおりに作成してください。

(項) _____
(目) _____

支払 年月日	目の細分	摘要 (品名等)	数量	単位	単価(円)	金額	補助対象経費		対象外経費	領収書 番号
							補助額	自己負担額等		
合　　計						0	0	0	0	

記載上の注意
目の細分欄は、補助要項の目の細分ごとに記載すること
記入欄が不足する場合は、適宜追加して作成すること
収支精算書の（項）及び（目）の順番どおりに作成してください。

＜補助対象事業に係る文化財の概要＞

文化財の名称		
指定の有無	☐ 有 (指定文化財) ☐ 無	文化財指定の有無をチェックボックスにチェック。 有の場合は指定種別を記載。
文化財の概要 (歴史や由来など)		

文化財の名称		
指定の有無	☐ 有 (指定文化財) ☐ 無	当該地域における歴史（いつ頃から継承されているか）を必ず記載すること。
文化財の概要 (歴史や由来など)		

文化財の名称		
指定の有無	☐ 有 (指定文化財) ☐ 無	本事業において、修理の対象とする文化財については、必ずいつから継承されているものであるかを明記すること。 修理の対象とする文化財が用いられる伝統芸能・伝統行事等の文化財の概要も作成すること。 記載がないものは審査の対象となりません。
文化財の概要 (歴史や由来など)		

文化財の名称		
指定の有無	☐ 有 (指定文化財) ☐ 無	
文化財の概要 (歴史や由来など)		

文化財の名称		
指定の有無	☐ 有 (指定文化財) ☐ 無	
文化財の概要 (歴史や由来など)		

※本事業で対象とする文化財ごとに作成すること

※域内の文化財全てを対象とする場合は、主な文化財の2～3件を記載し、外〇件とすること。

＜事業担当者連絡先＞

ふりがな	
申請団体名	
ふりがな	
担当者氏名	
担当者連絡先	(TEL)
”	(FAX)
”	(E-mail)

＜書類作成担当者連絡先＞

ふりがな	
申請団体名 又は所属先	
ふりがな	
担当者氏名	
担当者連絡先	(TEL)
”	(FAX)
”	(E-mail)
郵送先	〒
その他	

出演者及び講師等一覧表

事業名： _____

	出演者及び講師等氏名	所 属	所在地	文化財の名称等	出演料等
1					円
2					円
3					円
4					円
5					円
6					円
7					円
8					円
9					円
10					円
					0 円

事業名： _____

	出演者及び講師等氏名	所 属	所在地	文化財の名称等	出演料等
1					円
2					円
3					円
4					円
5					円
6					円
7					円
8					円
9					円
10					円
			合 計		0 円

事業名： _____

	出演者及び講師等氏名	所 属	所在地	文化財の名称等	出演料等
1					円
2					円
3					円
4					円
5					円
6					円
7					円
8					円
9					円
10					円
			合 計		0 円

- ※ 出演料等が発生しない者・団体についても記載してください。
- ※ 適宜行を追加・削除してください。

<領収書貼付台紙>

(項)		(目)		(目の細分)		領収書番号	
※各領収書の宛名, 金額, 但し書きがきちんと見えるように 貼り付けコピーしてください。 ※受領者は署名及び押印の両方を記載してください。							

※各領収書の宛名, 金額, 但し書きがきちんと見えるように貼り付けてください。
※受領者はサイン及び押印の両方を記載してください。

用具等整備の対象となる文化財の現況

修理・新調する用具等の名称	
区分	☐ 修理 ☐ 新調
全体写真	修理前  修理後
修理・新調のいずれかにチェックを入れ、修理にあつては全体写真と修理箇所の修理前・修理後の写真、新調にあつては、新調前（買い替え前）・新調後（買い替え後）の写真を添付し、修理箇所・状況の説明を記載してください。	
修理前 写真(全体)	修理後 写真(全体)
※用具等を修理・新調した場合は必ず提出が必要です。	
修理箇所①	修理前  修理後
修理前 写真(部分)	修理後 写真(部分)
【修理前の状況・修理内容】	
修理箇所②	修理前  修理後
修理前 写真(部分)	修理後 写真(部分)
【修理前の状況・修理内容】	

採択条件への対応状況

採択条件	
【対応状況】	

採択条件	
【対応状況】	

採択条件	
【対応状況】	